

なみえ 議会だより

2018.8.1
No. 160



新生なみえで
子供達の歓声があふれる

なみえ創成小・中学校で開催されたJCカップ予選

6月定例会

定例会	議案要旨・議案審議…… P 2～3	一般質問…… P 5～P 10
	議会活動経過報告…… P 4	委員会のうごき…… P 11～P 13
	採決状況…… P 4	町民の声…… P 14

一般会計補正予算

4億7198万7千円の増額を可決

要旨

6月定例会は、6月6日から13日までの8日間を会期として開催しました。

町長からは専決処分の承認・条例の改正、契約の締結、公有水面埋立て、土地の取得、補正予算、人事案件、報告案件など28件、議会からは2件の議案が提出され、これらについて審議を行いました。

審議結果（採決状況）については、4ページに掲載のとおりです。

【主な議案等の内容】

- 条例改正のうち、**浪江町国民健康保険税条例の一部改正**については、保険税の算定方式から資産割を廃止し、算定の基礎となる税率を引き下げる改正です。また、**浪江町営大平山霊園条例の一部改正**については、使用対象者から津波被災の要件を外し、広く浪江町民が使用できるように改正するものです。
- 契約の締結のうち、**いこいの村なみえ太陽光発電設備設置工事**は、災害時等の防災拠点施設として「いこいの村なみえ」が利用できるよう、太陽光パネル及び蓄電池を設置するものです。また、**請戸地区水産加工団地造成工事**は、水産加工団地の敷地として約3.8ヘクタールを造成するものです。
- 公有水面埋立て**は、請戸漁港の旧港部分約2.9ヘクタールを埋立てることに、施工者である福島県知事に対し同意を与えるものです。
- 補正予算**は一般会計で、歳入歳出それぞれ4億7198万7千円増額するものです。歳入の主なものは、ため池放射性物質対策工事、小熊田・宮田線改築工事施工、泉田川ふ化施設等測量設計業務などによる特別地方交付税及び国庫支出金6億8209万6千円の増などです。歳出の主なものは、小熊田・宮田線改築工事、泉田川ふ化施設等測量設計業務等の財源となる基金への積立て等のため総務費3億488万9千円の増、ため池放射性物質対策工事、水産共同利用施設整備等のため農林水産業費4億2043万2千円、なみえ創成小・中学校クラブハウス新築工事のため教育費1億6992万9千円の増、請戸住宅団地整備事業が継続費となったこと等による土木費4億2393万1千円の減などです。
- 人事案件のうち、**農業委員会委員の任命**については町長から提案された12名全員を同意しました。また、**馬場有町長から本人の体調不良を理由に退職届**が提出され、これに全会一致で同意しました。

専決処分

承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（平成29年度浪江町一般会計補正予算（第9号））

質問（馬場） 老人福祉費が減額されていますが理由をお尋ねします。

介護福祉課長 サポートセンターに係る運営管理委託料の減であり、各施設で当初予定していた数の専門員を採用できなかったためであります。

（賛成多数で承認）

承認第7号 専決処分の承認を求めることについて（平成29年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算（第5号））

質問（馬場） 成年後見申立関係事業費が減額されていますが、申し立て取扱いはありましたか。

介護福祉課長 利用者がいなかったため減額しました。

（賛成多数で承認）

承認第9号 専決処分の承認を求めることについて(浪江町税条例等の一部を改正する条例の制定について)

《反対討論》(馬場)

今回の改正によって、住民税や所得税のみならず、国保税、介護保険料などにも影響するということとは明らかであります。とりやすいところからという税制改正で、受け入れられるものではないということを確認にして、反対の討論にしたいと思います。

(賛成多数で承認)

承認第10号 専決処分の承認を求めることについて(浪江町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)

《反対討論》(馬場)

増額の対象世帯はそれほど多くはありませんが、ベースには地方税法改正があり、あわせて国民健康保険税の引き上げの税条例改正だということを明らかにして、反対の討論にするものであります。

(賛成多数で承認)

条例改正

議案第54号 浪江町国民健康保険税条例の一部改正について

《反対討論》(馬場)

収入が不安定な人たちがこの制度に加入しているにもかかわらず、通年ベースで1世帯にすると16万6000円という国保税は、重くて払えないという医療保険であります。さらなる改正を議会と行政を挙げて取り組んでいく必要があるという課題も提起して、今回の税条例改正については、明確に反対の態度を示しておきたいと思えます。

(賛成多数で可決)

補正予算

議案第65号 平成30年度浪江町一般会計補正予算(第1号)

質問(山崎)

作成委託はどのような校歌を考えていますか。

また、なみえ創成小・中学校クラブハウス新築工事はどのような工事概要となっているのかお伺いします。

教育長

校歌については、専門的な方のお力添えもいただきながら、子供たちや、関わる方々の思いを反映させながら詩をまとめていきたい。曲については、音楽教諭の力を借りながら、最後は専門家の力もいただく必要があると考えております。

教育次長

クラブハウス新築工事は、なみえ創成小・中学校敷地内に鉄骨平屋建て約220㎡で、用具室、更衣室、トイレ、談話室などを備えたものを予定しております。

(賛成多数で可決)

御冥福をお祈りいたします

去る6月27日に逝去されました、故馬場有前町長に深く哀悼の意を表します。

生前故人は東日本大震災及び原子力発電所事故により、難しい判断を迫られる中でも強いリーダーシップで町の再生・復興を牽引してこられました。避難指示区域の一部解除の判断でも、何とか次世代へ町を引き継ぐ「まちのこし」をするという強い決意のもと、全ての住民説明会に出席し熱く町民に訴えかけていた姿が強く印象に残っております。また、常に町民の目線に立ち、国や東京電力に対しても「言うべきことは言う」など一貫して町民に寄り添ってきた姿勢に、改めて敬意を表したいと思います。

生前に馬場前町長がおっしゃっていた「まちのこし」は、議会としてもその遺志を引き継ぎ、しっかりと役割を果たしてまいりたいと思っておりますので、どうか安らかにお休みください。

議員一同心よりお悔やみを申し上げるとともに、御冥福をお祈りいたします。

浪江町議会議長 紺野 榮重

議会活動の経過報告 4月16日～7月15日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

4月

- 17日 全員協議会
- 24日 双葉地方町村議会議長会議 (富岡町)

5月

- 2日 議会運営委員会
- 11日 双葉地方広域市町村圏組合議会 (富岡町)
- 15日 全員協議会
- 16日 「浪江町ADR集団申立て」に係る和解仲介手続きの打ち切りに関する声明発表
- 16日 双葉地方広域市町村圏組合議会・保健衛生常任委員会 (富岡町)
- 17日 双葉地方広域市町村圏組合議会・消防厚生常任委員会 (富岡町)
- 18日 双葉地方広域市町村圏組合議会・総務常任委員会 (富岡町)
- 23日 町村議会広報研修会 (郡山市)
- 28日 全国町村議会議長・副議長研修会 (東京都)

- 29日 双葉地方町村会・議長会要望活動 (～30日 東京都)
- 31日 双葉地方広域市町村圏組合・議会運営委員会 (富岡町)
- 双葉地方広域市町村圏組合・定例会 (富岡町)
- 議会運営委員会

6月

- 4日 福島県町村議会議長会定期総会 (福島市)
- 6日 6月定例会 (～13日) ※1
- 21日 福島第一原子力発電所及び中間貯蔵施設視察
- 26日 産業・建設常任委員会町内視察

7月

- 2日 議会報編集特別委員会
- 6日 議会報編集特別委員会
- 10日 復興副大臣と双葉郡議会議長との意見交換会 (福島市)
- 議会報編集特別委員会

※1 本会議の出欠状況は、町ホームページ(浪江町議会→会議結果一覧)をご覧ください。

6月定例会の採決状況 (6月13日採決)

議案番号	件名	議決結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度浪江町一般会計補正予算(第9号))	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度浪江町文化及びスポーツ振興育成事業特別会計補正予算(第2号))	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号))	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第4号))	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第5号))	承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号))	承認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第5号))	承認
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度浪江町財産区管理事業特別会計補正予算(第2号))	承認
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて(浪江町税条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて(浪江町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
議案第53号	浪江町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第54号	浪江町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第55号	浪江町営大平山霊園条例の一部改正について	原案可決
議案第56号	浪江町営住宅等集会所条例の一部改正について	原案可決
議案第57号	工事請負契約の締結について(いこいの村なみえ太陽光発電設備設置工事)	原案可決
議案第58号	工事請負契約の締結について(請戸地区水産加工団地造成工事)	原案可決
議案第59号	工事請負契約の締結について(町道尻合大和久線道路災害復旧工事)	原案可決
議案第60号	工事請負契約の締結について(町道鳥喰後畑線道路災害復旧工事)	原案可決
議案第61号	工事請負契約の締結について(町道請戸漁港小高瀬線道路改築工事(2工区))	原案可決
議案第62号	工事請負契約の締結について(町道大平山来福寺東線道路改築工事(1工区))	原案可決
議案第63号	公有水面埋立てについて	原案可決
議案第64号	土地の取得について	原案可決
議案第65号	平成30年度浪江町一般会計補正予算(第1号)	原案可決
同意第1号	農業委員会委員の任命について	同意
報告第1号	平成29年度浪江町一般会計継続費繰越計算書について	報告
報告第2号	平成29年度浪江町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第3号	平成29年度浪江町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
	町長馬場有君の退職の件	同意
請願第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	採択
発議第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決
	委員会の閉会中の継続審査又は調査について	決定

5 議員が質問

■渡 邊 泰 彦

- (1) 浪江町の復興に向けたフォローアップについて
- (2) 2035年に人口約8000人を実現するために
- (3) 浪江町の賑わいを取り戻す取り組みについて

■佐々木 勇 治

- (1) 東京電力賠償について
- (2) 放射線について
- (3) 大平山墓地について
- (4) 生活支援について

■馬 場 績

- (1) 帰還困難区域の特定復興拠点整備事業について
- (2) ADR集団申し立て打ち切りについて
- (3) 除染後の農地整備について
- (4) 復興住宅の住環境整備について
- (5) 避難先再開校の今後について
- (6) 福島第二原発廃炉と政府の第5次エネルギー基本計画について

■山 本 幸一郎

- (1) まちづくり会社について
- (2) 農業関連について

■石 井 悠 子

- (1) 学校教育関係について
- (2) 介護福祉行政について
- (3) 家賃賠償手続きについて
- (4) 窓口業務について

一般質問

町政と問う

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を合わせて1000文字程度に要約しておりますので、ご了承ください。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。

● 渡邊 泰彦 議員 ●



Q 浪江町の復興に向けて、
国・県のフォローアップの現状は

A 国・県・町による官民協議会で
定期的にチェックしています



新店舗の開店は増えている



棚塩産業団地の整備は進んでいる

企画財政課長 4月末現在で、
町内居住人口は729名です。

質問 2035年に人口8000人を
実現するためには、町民の帰還は意向調査のデータから最大で4000人と考えられます。残り4000人は移住人口が必要になりますが、その施策をお尋ねします。

人口8000人の
実現について

浪江町人口ビジョンに定めている目標人口の達成につきましては、帰還人口の増加に加えて、新たな町内の転入者も見込んでいます。

町内への移住を検討されている方々のために「移住・定住相談窓口」も開設しています。また「定住促進住宅取得事業補助金」についても、当初予算に計上しています。



解体による空地は増えている

買い物環境について

質問 浪江町再生の中で、
買い物環境の整備が遅れていま
す。短期・中期に分けて、整備
する規模や誘致する店舗を考え
るべきと思いますが、町の方向
性をお尋ねします。

まずは、生鮮食料品が買える
ような店舗を先行して誘致し、
その後それが大規模店舗へ移
行する戦略を考えています。

産業団地の開発について

産業振興課長 出店には、商
圏の人口、従業員や店舗の確保、
採算性など様々な課題がありま
す。

質問 産業復興の中で、町
は北・南・棚塩・藤橋の4つの
産業団地の開発を進めています。
町民の雇用場の確保のために
は、重要施策です。それぞれの

産業振興課長 棚塩産業団地
は造成工事に着手しています。
藤橋産業団地は整備工事が完了
しています。北産業団地は今年
度半ばに造成工事に着手します。
南産業団地は今年度末頃に造成
工事に着手します。

企業誘致計画としては、昨年
度全国1500社超を対象に、
意向調査を実施しています。窓
口や電話などでも多数の相談を
頂いており、事業者の意向や事
業計画の精査をして各産業団地
とのマッチングを進めています。

整備計画と企業誘致計画をお答
え下さい。

● 佐々木勇治 議員 ●



Q 避難指示解除後1年以上経過したので、大平山にある墓地販売対象者を拡大すべきでは

A 購入したい使用者の範囲を広げる予定です

東京電力賠償金の行方は…

質 問 精神的損害賠償が終了したが帰町宣言は未だに出来ていないので、今まで通り10万円の継続が妥当ですが半額の5万円でも支払いを継続させるべきではないですか。

総務課長 避難指示解除後の状況を訴えながら、国及び東京電力に対して適切に賠償することを要求してまいります。

質 問 平成30年4月以降も避難に伴う移動費用の賠償が継続になりましたが、こんな当たり前の賠償は永久に支払い対象で当然ではないですか。

総務課長 終期は示されていませんので、今後も適切な賠償の継続を求めてまいります。

質 問 借家にお住まいだった方の住居確保損害賠償について、対象区域内外であまりにも差額がありすぎではありませんか。

総務課長 帰還を妨げる一因

になる事から富岡町と合同で国及び東京電力に対して賠償額に差が生じないよう要望しています。

放射線管理の重要性

質 問 なみえ創成小中学校にいろいろな管理をしていますか。定はどんな管理をしていますか。

教育次長 毎日放射線量を測定しており、小中学校は校舎内

15箇所、校庭及び敷地内5箇所の合計20箇所。こども園は園舎内5か所、園庭2箇所の合計7箇所測定しています。

質 問 2013年にモニタリングポストが配備されてから5年間で4000回近くも不具合を起こしているが、今後の必要性についてどう考えていますか。

総務課長 リアルタイムで測定しているものであり、放射線量を簡単に把握、理解できるため重要な機器だと考えています。

質 問 原子力規制委員会は、今後2年間の間に12市町村以外のモニタリングポスト約2400台を撤去する方針ですが、どのように対応していきますか。

総務課長 避難先はまだ数多くの町民がいますので、関係市町村の担当者会議の中でも柔軟な対応を求めています。

被災者生活再建支援金制度の理解度は

質 問 帰還困難区域の方でも全壊や大規模半壊であれば、被災者生活再建支援金制度の基礎支援金を申請できますが周知していますか。

住宅水道課長 今後もホームページ及び広報等で周知させていただきます。

質 問 帰還困難区域で大規模半壊と判断された方は、全壊及び半壊で解体した方に比べ半額ですが、特定復興再生拠点区域等で家屋を解体すれば残額を申請できますか。

住宅水道課長 解体が終了した場合、半壊で解体した方と同じ対象になりますので、申請期間内であれば残額を申請できます。



不具合が多いモニタリングポスト

● 馬場 績 議員 ●

Q 避難先（二本松市針道）の浪江中学校の存続を

A 浪江中学校は平成31年度末までと考えています



質問 津島小に通う6年生

の保護者から、「来年は浪江中学校に通学できると思っていたのに、教育長に『浪中が存続されるかわからない』と言われた。小学1年の時、福島でいじめにあい、強度の精神不安定になり、不登校になってしまった。もし浪江中学校が廃止になり、福島に転校するようなことになれば、登校拒否になるのでは」という深刻な相談を受けました。ことは義務教育の問題です。避難先にある、浪江中学校の存続を町と教育長は県に強く求めるべきであります。

教育長 平成28年度の「浪江町立小・中学校にかかわる検討委員会」の答申を受け、教育委員会

会で検討の結果、浪江中学校は平成31年度末（閉鎖）を想定しております。

質問 「31年度末」ということ

とは32年3月ということですか。即ち、来年3月卒業の子供は浪江中学校に入学出来るということですか。継続すればその下の小学4年生も浪中に入れます。浪中存続のために最大限の努力を払うべきです。

教育長 支援が必要なお子さん

が、いい中学生生活を送れるようにお話を聞きながら見通しを立てていきます。

ADR和解案に「拘束力」を持たせる取り組みを

質問 東電の「和解拒否」に

よるADR打ち切りが起きています。「ADR和解案」に強制力

がないという制度上の欠陥が浮

き彫りになりました。拘束力を持たせるため、日弁連や県弁護士会などと連携した取り組みを進めるべきではありませんか。

総務課長 「片面的裁定機能」

など拘束力を持たせる必要性があると考えます。町としても声を上げてまいります。

帰還困難区域の土壌をなぜダム上流に運ぶのか

質問 大堀、末の森、室原、

津島の除染除去土壌など第一期分、最大38万5000立方メートルの仮置き場に大柿ダム上流である南津島「JA草地」を仮置き場に使用したいとの町の説明がありました。地元了解もありません。中間貯蔵施設への直送、または地元保管を検討すべきではないですか。

住民課長 仮置き場について

環境省とともに地元行政区と協議中です。



存続の強い希望がある浪江中学校（二本松市東和）

● 山本幸一郎 議員 ●



Q 農業関連施設の整備計画はあるのですか

A 平成32年度まで整備する予定であります

農業への取り組み計画は

質問 農業用倉庫やライスセンター等の規模はどのようになっていますか。

農林水産課長 今後の水稻の作付見込み量を調査し30年度には確定し申請します。

本間副町長 農業用倉庫やカントリーを町としても町内の田畑をカバーできるスペックでやりたいとは思いますが、予算もありませんので、地区ごとに見合ったものを設けるのが適当と考えます。

質問 町の事業で田畑の大規模化、圃場整備ができるかお伺いします。

農林水産課長 圃場整備については基本的には、地元の方の意思が決定されていないとうまく進められないものと感じています。相談等があれば調査して対応していきたいと思えます。

質問 田畑の保全管理や管理耕作はいつまで延びるのかお伺いします。

農林水産課長 営農再開支援

事業を大きく分けると草刈や・耕うんの保全管理と営農を再開するまでの間、管理する管理耕作があります。

保全管理は解除後3年を迎える31年度で終了します。管理耕作や放射性物質対策のメニューは32年度まで継続することが決まっております。

町づくり会社の運営について

質問 町づくり会社を町が3000万円出資し設立した目的をお伺いします。

宮口副町長 解除する段階で町に必要な住民の雇用創出と生きがい対策ができる、以前のシルバー人材センターの機能を持ったものを考えています。

質問 任期付職員の限度は

5年間です。あと1年あまりしか延ばせない者を町づくり会社に研修に出してどう思いますか。また、法的には違法ではないかお伺いします。

宮口副町長 ノウハウの持っている職員がいなかったことも含めて任期付職員の方にお願いました。また法的には違法ではないと認識しております。



圃場整備が完了し、作付した南相馬市小高区



駅前に開設された町づくり会社

● 石井 悠子 議員 ●



Q 浪江町立学校の少人数教育だからこそ経験できること、配慮すべきことはどのように捉え、どのような取組みを

A 多様な個性を積極的に認め、少人数教育だからこそできる、一人一人の状況に応じてきめ細かな指導の実践を行うこととしています



かぼちゃまんじゅう作り体験で地元住民と交流

質問

給食調理場には300食調理可能な調理器具が整備されており、学校給食を町民にも提供することで、食を通して交流の場となり、新しいモデルになるのではとも考えます。調理器具の活用状況、今後の予定をお伺いします。

くものと考えております。

また、地元住民の方々との交流の一環として、給食の試食会が予定されており、今後、学校行事との兼ね合いをみながら利活用を検討してまいります。

質問

町内に戻れない児童・生徒に浪江町との繋がりを持たせる等の取組みを行うため、今後どのような対応・対策を考えているのかお伺いします。

教育次長

現状では、約30食分の調理となっておりますが、今後児童生徒の増加も想定され、調理器具も徐々に活用されてい

教育長

広報なみえや町ホームページ等を通じて町立小・中学校の様子を伝えてまいりました。また、子ども同士の交流事業や浪江町に関する体験を共有するためのセカンドスクールといった事業を実施していますが、今後はこれまでの経験、実績を活かしながらより効果的なものとなるように内容を検討して進めてまいります。

介護保険料高い自治体として浪江町5位とは

質問

介護保険料が平成30年々々32年度全国平均で5869円になると厚生労働省が発表しました。浪江町は8400円となっており、保険料が高い自治体として町はどのように受け止めたのかお伺いいたします。

介護福祉課長

長期の避難生活の影響が大きく出ていると認識しています。介護保険料と介護サービスの利用者負担については、国からの補助金により一部の方を除いて免除となっております。ますます状況が悪化していることから今後も免除が継続できるように国に要望してまいります。

についてお伺いします。

生活支援課長

家賃支援に係るコールセンターを県が設置し、すでに対応は始まっていますが、説明会の実施や窓口の設置、個別対応、提出書類の簡素化等について、県に対して要望をしているところです。

本庁舎入り口に案内人の配置は

質問

問い合わせ、行政手続などで役場に足を運ぶ方が多い中、どの課に行けば用が足せるのかわからず、たらい回しになってしまいうちもあるかと思えます。各課窓口業務を円滑にするためにもワンストップサービスか案内人を配置するお考えをお伺いします。

総務課長

町としても、窓口の利便性の向上を図る必要性については認識しています。ただ、一元化した窓口の設置等については、庁舎のスペースや人員の確保等に制約があることから、現在は住民課の窓口で窓口案内をしております。

家賃助成金請求を求める方に対してサポート体制は

質問

家賃請求先が東京電力から県に変わることで、年に4回書類提出になり、申請書類等の記入などのサポート体制に

委員会のうごき

● 総務常任委員会からの報告 ●

総務常任委員会は、総務課、企画財政課、住民課、生活支援課、津島支所、出納室が所管する案件を審議しています。

委員長／山本幸一郎 副委員長／紺野則夫 委員／渡邊泰彦、紺野榮重

■ 総務課 ■ 農業委員会委員

問 委員の選考で地区にかたよがりがあるのではないですか。

答 公募のほか、一般推薦、団体推薦によって選考されているため、多少のかたよりが生じております。

■ 総務課 ■ 賠償支援事業

問 ADR打ち切りに伴う、今後の賠償支援はどのように考えていますか。

答 意向調査の結果、4割を超える世帯からご回答をいただき、約半数の世帯が訴訟を検討したいとの回答でした。町としては7月中に訴訟説明会を開催し、より詳しい内容を説明していきたいと考えております。

■ 企画財政課 ■ いこいの村なみえ

問 利用客に食事を提供するための厨房等を整備する予定はありますか。

答 食事の提供手法、厨房整備の財源確保など、検討を続けてまいります。

■ 生活支援課 ■ 町民号

問 町民号の計画はどうなっていますか。

答 11月8日、9日の日程で岩手県花巻温泉を予定しております。詳しくは広報なみえ8月号と一緒にチラシを同封しておりますのでご確認ください。



総務常任委員会の審議の様子

■ 企画財政課 ■ 携帯電話不通解消

問 国道114号沿線の携帯電話不通地域の対応はどのようになっていますか。

答 本年度中に予定している工事が完了すれば、概ね国道114号沿線の不通区間は解消されます。

■ 住民課 ■ ふるさと帰還カード

問 ふるさと帰還カードの申し込みはいつまでですか。

答 申し込みは随時受け付けております。ただし、7月1日以降はふるさと帰還カードの提示がない場合、有料となります。

■ 住民課 ■ レジスター購入

問 補正予算にレジスター購入予算が計上されているが、どのように使用するのですか。

答 住民票などの発行手数料を収納するため、県内の各出張所に配置します。手数料をいただく時期につきましては、今後検討してまいります。

●産業・建設常任委員会からの報告●

産業・建設常任委員会は、産業振興課、農林水産課、住宅水道課、まちづくり整備課、農業委員会が所管する案件を審議しています。

委員長／平本佳司 副委員長／高野 武 委員／山崎博文、佐々木恵寿、馬場 績

■農林水産課■ 請戸漁港旧港埋立て

問 埋立ての目的と工期はいつまでですか。

答 埋立て地には、漁具倉庫と網干場を予定しております。工期は3年となっております。

■産業振興課■ 交流・情報発信拠点施設の整備

問 道の駅の計画はどのようになっていますか。

答 敷地面積が約35,000㎡、建物の面積が約2,900㎡でこの中に商業スペース、交流スペース、地場産品スペースなどを整備する予定です。

■産業振興課■ 棚塩産業団地

問 水素プラントの進捗状況はどうなっていますか。

答 4月に産業団地の起工式を行い、現在は造成工事中です。7月以降事業者にて建設工事に着手し、平成32年度には水素を供給する予定であると聞いております。

■住宅水道課■ 水道料金

問 現在、減免となっていますが、次年度以降はどうなりますか。

答 現在の開栓数では東京電力の賠償がないと経営が成り立ちません。関係機関と協議を続けながら、年内には方向性を決めたいと思います。



産業・建設常任委員会の審議の様子

■住宅水道課■ 被災者生活再建支援金

問 申請期間が平成31年4月10日までとなっていますが、延長はないのですか。

答 引き続き、関係機関に延長を要望していきます。

■まちづくり整備課■ 大平山霊園の募集

問 一般町民への募集開始はいつからですか。

答 9月から受付予定です。詳しくは広報なみえ9月号でお知らせします。

■まちづくり整備課■ 町道の危険箇所

問 にじいろこども園の南、西側の用水路はガードレールも無く危険であるが対策はどうなっていますか。

答 平成32年度に道路を拡幅する計画であり、現在はポールを設置するなどして対応しております。

● 文教・厚生常任委員会からの報告 ●

文教・厚生常任委員会は、教育委員会、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件を審議しています。

委員長／佐藤文子 副委員長／石井悠子
委員／半谷正夫、佐々木勇治、松田孝司、泉田重章

■ 教育委員会 ■ 図書館の本

問 浪江町図書館に保管されている本は、今後どうするのですか。

答 貴重な資料となるような本は、1枚1枚ページを拭き取るなどしてから残していきたい。

■ 教育委員会 ■ スポーツセンター利用料

問 地域スポーツセンターの利用はいつから有料になりますか。

答 今年度は無料です。なお、有料となる時期は、他の手数料等の状況を見て検討してまいります。

■ 教育委員会 ■ 学校検診医の確保

問 なみえ創成小・中学校で行う検診で医師の確保はどうなっていますか。

答 内科、薬剤師については町内の医師に、歯科、眼科、耳鼻科については町外の医師にお願いしています。

■ 介護福祉課 ■ 介護福祉施設

問 町内に介護施設の設置を考えていますか。

答 平成32年度末までに介護関連施設の設置を計画しており、今年度は施設の基本設計を予定しております。



文教・厚生常任委員会の審議の様子

■ 教育委員会 ■ 町のスポーツ大会

問 各種スポーツ大会の会場を町内にする考えはありますか。

答 今年度からスポーツ推進員を任命し、町のスポーツ事業について会場を含めた運営等について検討してまいります。

■ 教育委員会 ■ キッズパークの建設

問 子供達の遊び場の確保はどのように考えていますか。

答 キッズパークの建設に向け、今年度に基本設計を予定しております。

■ 健康保険課 ■ 国民健康保険一部負担金

問 国民健康保険一部負担金等免除について、8月以降も延長になりますか。

答 平成31年2月まで上位所得者を除いて免除となります。なお、帰還困難区域の方には所得制限に関係なく全額免除となります。

町民の声



右から3人目が佐々木さん

今、私にできること

佐々木光恵さん（昼曾根）

震災から7年が過ぎ、周りの状況は日々変わって行き、復興も進んでいると言われますが、それでも私たちはまだ故郷へは戻れません。自宅は帰還困難区域内のため、いつ帰れるかもわかりません。

そんな中でも今の生活に向き合いながら、毎日をどのようにに有意義に暮らすか自問自答しています。今回は避難後に始めたグループ活動を書いてみたいと思います。

震災後、大玉村、本宮市に避難した有志で「コスモス南達会」が創設されました。その中の女性10人程で、手芸の会「サークルりんどう」を結成しました。

何よりも人と人とのつながりを大事にと思い、借上げ住宅の倉庫2階を開放し、何時でも集まれる空間にし、原則月1回のペースで集まっていますが、3人でも4人でも集まれば、手芸品や小物を製作したり、おしゃべりをしたり

お茶を飲んだり、自由に、にぎやかに長い時は一日中一緒に活動しています。出来上がった作品は浪江の十日市で展示、販売させていただいたり、二本松の「コーヒータイム」さんにもお世話になりました。様子にも見ていただいています。

また、平成26年春から、本宮市のボランティアグループに加入し、給食ボランティアに参加しています。年に2回程、本宮市の一人暮らしの高齢者に届ける弁当作りですが、献立作りから材料の買い出し調理までの作業をやっています。

避難先でのストレスや不自由な事、生活の事、気軽に話をして、不安を軽減できればと思いきいなサークルですができる限り続けて行こうと思っています。興味のある方はぜひ一度お訪ね下さい。

編集後記

先日、季節外れの風邪をひいてしまい、浪江診療所のお世話になりました。午前10時頃でしたが、患者は私一人だけでしたのですぐに受診ができ、検査・診療・処方箋まで短時間で完了して、すぐに家に帰って療養しました。木村先生のおかげで、2日後には体調も戻り通常の生活ができました。私達が生活するには、診療所が必要不可欠な施設だとつくづく感じました。浪江診療所の先生も看護師さんもととても親切ですので、体調不良などの際はご利用になってみてはいかがでしょうか。

発行責任者

議長 長 紺 野 榮 重

議会報編集特別委員会

委員長 渡 邊 泰 彦

副委員長 半 谷 正 悠

委員 石 井 野 則 博

委員 高 野 則 博

委員 山 野 則 博

委員 山 野 則 博

